

# しごと

調布市内でも  
さまざまな仕事をしています。

市内のマンションをピカピカに！

調布市内を中心に、府中、国分寺で集合住宅向け清掃サービスを提供する有限会社管理人代行サービスは、調布市内の福祉作業所と業務提携し、建物共有部分(階段、廊下、手すり、柵等)の定期清掃をしています。「福祉作業所の方々の力を身近な地域で生かしたい」という同社代表の箕輪雅則さんの思いから始まったこの事業は現在、市内外9作業所に広がっています。▶



この日は、NPO法人羽ばたく会「めじろ作業所」の市内のマンション清掃に同行しました。「手作業で簡単にできる清掃の仕事は、福祉作業所のプラスアルファの仕事として最適だと思っています。キレイにすることに集中してくださるので、丁寧な仕上がりでお客さまにも大変喜んで頂いています」と箕輪さん。

同福祉作業所のスタッフも「めじろ作業所は印刷業務がメイン。室内中心の作業のため、利用者の健康維持やいい気分転換にもなっています」と語ります。

清掃、スキルも年々、アップしているそうです。その他、めじろ作業所では、名刺サイズからA全サイズまで各種印刷を請け負っていて、何でも気軽に相談に乗ってくれます。

## 調布の消防署の制服もクリーンング

NPO法人「爽々苑」では、調布市内の公共施設、小学校、高校、福祉施設等に向けたランドリーサービスを提供しています。

依頼される物は、消防署の制服・防寒服・シーツから、警備会社の制服や作業服、学校の保健室のシーツ・カーテン、介護施設のタオル・衣類などさまざま。週に5回市内各所を回り、シーツを月に約250枚、タオルや洋服を月に2000枚以上を回収。それを8〜10名の利用者でクリーニングしています。

この日は、調布消防署深大寺出張所からの回収。記念に外でも撮影



作業所には大型洗浄機、乾燥機、アイアンローラーなどの専用の機器が多数揃っています



調布消防署深大寺出張所からの回収。記念に外でも撮影



## 国民健康保険のDM封入も共同受注

社会福祉法人「調布市社会福祉協議会」が運営する調布市障害者地域活動支援センター「ドルチェ」では、国民健康保険のDMのラベル貼り＆封入作業が行われていました。

この仕事は、「調布市福祉作業所等連絡会」が受注し、複数の作業所が連携して行っている仕事です。市内の福祉作業所では、このような連携した仕事も常時行っています。

納期はこの日を含めて3日。

普段よりも多い受注に、休み時間も手を止めず作業を続ける忙しさです。通所利用者の多くは、高次脳機能障害を抱えている方で半身不随や視野の欠損、失語症など、障がいの部位や程度は異なり、同じ作業でも進め方やスピードも違います。

「遅い分丁寧に」、「視野が狭い分何度もチェック」など、それぞれに工夫しながらしごとをされています。



休憩中はスマホやお酒の話題で盛り上がる場面も。仲の良さも高い作業効率の秘訣です



封入・封かんのほか、布草履づくりや名刺への点字打ちなども行っています

## 表彰状

障がい者を支えてくださる「わくわく」なお店に、感謝の思いを込めて表彰状をお贈りしています。

### 『おぎもと内科クリニック』さまに感謝!

国領にある「おぎもと内科クリニック」は、2004年の開院時から近くの「ひなげしの会 ポピーの家」の健康診断や健康指導を行ってくださっています。また、「わかばの会」でも利用者の健康診断や診察、職員の予防接種などを行っていただいています。「わかばの会」の長尾英治所長は、「先生も看護婦さんも丁寧で、障がいのある人の状況に合わせて診察してくださるので助かります」と感謝の言葉を語ります。荻本先生、ありがとうございます!

おぎもと内科クリニック  
調布市国領町2-13-8 TEL:042-489-6658  
日祝・木曜午後休診 診療:9時~12時、15時~18時30分(土曜は~12時)



「不動産管理会社やオーナーの方々や福祉作業所の架け橋になれるよう、一層取り組みに力を入れていきたい」と語る有限会社管理人代行サービス代表の箕輪さん(左端)。全体の15%程度のごとを福祉作業所と共同で行っています。